

## DocLink 1.0.0

パラメーター名	型	デフォルト値	説明
パラメーター			
basePath	string	assets/snippets/doclink/	<b>DocLinkのファイルがあるフォルダのパス。</b>
home	int	[ [(site_start)] ]	<b>ホームへのリンクで使用するホームページのドキュメントID。</b> 「0」を指定するとサイトホーム。
sortBy	string	createdon	<b>ドキュメントの並び替えの基準にするフィールド。</b>
sortDir	string	ASC	<b>ドキュメントの並び替え順。</b> 「ASC」か「DESC」を指定。
showInMenuOnly	bool	0	<b>「メニューに表示」のチェックがついているドキュメントのみを表示するかどうか。</b> 「0」か「1」で指定。
showPublishedOnly	bool	1	<b>公開されているドキュメントのみを表示するかどうか。</b> 「0」か「1」で指定。
hideFolders	bool	1	<b>表示からフォルダを隠すかどうか。</b> 「0」か「1」で指定。
exclude	string		<b>表示から除外するドキュメントのドキュメントIDをカンマ(「,」)区切りで指定。</b>
template	string	simple	<b>出力に使用するテンプレートの名前。</b> templatesフォルダにあるテンプレート名が「html」を指定。  simple 前後のドキュメントへのナビゲーションリンク。 advanced 前後と最初と最後のドキュメントへのナビゲーションリンク。 full 前後と最初と最後のドキュメント、ホームページへのナビゲーションリンク。ページ数を表示。 link ナビゲーションのためのlink要素。 このテンプレートを使用する場合は、「<head>」～「</head>」内でスニペットをコールする。 html &tpl***を利用してテンプレートを指定。 <b>その他</b> templates/フォルダに置いたテンプレート名を指定。 テンプレートファイル名は <b>テンプレート名</b> .tpl.inc.php。
style	string	plane	<b>出力に使用するスタイル。</b> stylesフォルダにあるスタイル名が「none」を指定。  plane シンプルなスタイル。 modx 黒と緑のMODxスタイル。 graybar グレー地にオレンジのスタイル。 flicker Flickr風スタイル。 delicouiser del.cio.us風スタイル。 digger Digg風スタイル。 amazoner Amazon風スタイル。 none CSSを読み込まない。 <b>その他</b> styles/フォルダに置いたスタイル名を指定。 スタイルファイル名はスタイル名.css。
titleSource	string	pagetitle	<b>テンプレートで使用するリンクのタイトル。</b> 「pagetitle」か「longtitle」を指定。
alwaysShowLinks	bool	1	<b>表示するドキュメントがない場合に前後、最初、最後へのリンクを表示するかどうか。</b> 「0」か「1」を指定。 「0」を指定すると、表示するドキュメントがない場合には何も出力しない。 「1」を指定すると、表示するドキュメントがない場合には&tpl***Offのテンプレートを出力する。
alwaysOutput	bool	0	<b>表示するドキュメントが全くない場合にテンプレートを出力するかどうか。</b> 「0」か「1」を指定。 「0」を指定すると、表示するドキュメントが全くない場合(&tplInnerが空の場合)には&tplOuterを出力しない。 「1」を指定すると、表示するドキュメントが全くない場合(&tplInnerが空の場合)でも&tplOuterのテンプレートを出力す
テンプレート用パラメーター (&template=「html」の場合のみ)			
tplOuter	string		<b>ナビゲーションリンクの外側のテンプレート。</b> チャック名が「@FILE: <b>ファイル名</b> 」、「@CODE: <b>XHTML</b> 」のように指定。
tplInner	string		<b>ナビゲーションリンクの内側のテンプレート。</b> チャック名が「@FILE: <b>ファイル名</b> 」、「@CODE: <b>XHTML</b> 」のように指定。 &alwaysOutput=「0」の場合で、このテンプレートの内容が空になった場合には&tplOuterも出力されない。
tplHome	string		<b>ホームページへのリンク用のテンプレート。</b> チャック名が「@FILE: <b>ファイル名</b> 」、「@CODE: <b>XHTML</b> 」のように指定。 &alwaysShowLinks=「0」の場合で、&homeで指定したドキュメントがない場合は出力されない。 &alwaysShowLinks=「1」の場合で、&homeで指定したドキュメントがない場合は代わりに&tplHomeOffが出力される。
tplParent	string		<b>親ドキュメントへのリンク用のテンプレート。</b> チャック名が「@FILE: <b>ファイル名</b> 」、「@CODE: <b>XHTML</b> 」のように指定。 &alwaysShowLinks=「0」の場合で、何らかの原因で親ドキュメントが取得できない場合は出力されない。 &alwaysShowLinks=「1」の場合で、何らかの原因で親ドキュメントが取得できない場合は代わりに&tplParentOffが出力される。
tplFirst	string		<b>最初のドキュメントへのリンク用のテンプレート。</b> チャック名が「@FILE: <b>ファイル名</b> 」、「@CODE: <b>XHTML</b> 」のように指定。 &alwaysShowLinks=「0」の場合で、最初のドキュメントがない場合は出力されない。 &alwaysShowLinks=「1」の場合で、最初のドキュメントがない場合は代わりに&tplFirstOffが出力される。
tplPrev	string		<b>前のドキュメントへのリンク用のテンプレート。</b> チャック名が「@FILE: <b>ファイル名</b> 」、「@CODE: <b>XHTML</b> 」のように指定。 &alwaysShowLinks=「0」の場合で、前のドキュメントがない場合は出力されない。 &alwaysShowLinks=「1」の場合で、前のドキュメントがない場合は代わりに&tplPrevOffが出力される。
tplNext	string		<b>次のドキュメントへのリンク用のテンプレート。</b> チャック名が「@FILE: <b>ファイル名</b> 」、「@CODE: <b>XHTML</b> 」のように指定。 &alwaysShowLinks=「0」の場合で、次のドキュメントがない場合は出力されない。 &alwaysShowLinks=「1」の場合で、次のドキュメントがない場合は代わりに&tplNextOffが出力される。
tplLast	string		<b>最後のドキュメントへのリンク用のテンプレート。</b> チャック名が「@FILE: <b>ファイル名</b> 」、「@CODE: <b>XHTML</b> 」のように指定。 &alwaysShowLinks=「0」の場合で、最後のドキュメントがない場合は出力されない。 &alwaysShowLinks=「1」の場合で、最後のドキュメントがない場合は代わりに&tplLastOffが出力される。

テンプレート用パラメーター (&template= `html` で&alwaysShowLinks= `1` の場合のみ)			
tplHomeOff	string		ホームページへのリンク用(無効時)のテンプレート。 チャック名が`@FILE: <u>ファイル名</u> `、`@CODE: <u>XHTML</u> `のように指定。 &homeで指定したドキュメントがない場合に&tplHomeの代わりに出力される。
tplParentOff	string		親ドキュメントへのリンク用(無効時)のテンプレート。 チャック名が`@FILE: <u>ファイル名</u> `、`@CODE: <u>XHTML</u> `のように指定。 何らかの原因で親ドキュメントが取得できない場合に&tplParentの代わりに出力される。 通常は使用しない。
tplFirstOff	string		最初のドキュメントへのリンク用(無効時)のテンプレート。 チャック名が`@FILE: <u>ファイル名</u> `、`@CODE: <u>XHTML</u> `のように指定。 最初のドキュメントがない場合に&tplFirstの代わりに出力される。
tplPrevOff	string		前のドキュメントへのリンク用(無効時)のテンプレート。 チャック名が`@FILE: <u>ファイル名</u> `、`@CODE: <u>XHTML</u> `のように指定。 前のドキュメントがない場合に&tplPrevの代わりに出力される。
tplNextOff	string		次のドキュメントへのリンク用(無効時)のテンプレート。 チャック名が`@FILE: <u>ファイル名</u> `、`@CODE: <u>XHTML</u> `のように指定。 次のドキュメントがない場合に&tplNextの代わりに出力される。
tplLastOff	string		最後のドキュメントへのリンク用(無効時)のテンプレート。 チャック名が`@FILE: <u>ファイル名</u> `、`@CODE: <u>XHTML</u> `のように指定。 最後のドキュメントがない場合に&tplLastの代わりに出力される。

ブレースホルダー名		説明
テンプレートの中で利用可能		
inner	&tplInnerの内容。通常は&tplOuterの中で使用する。	
home	&tplHomeか&tplHomeOffの内容。通常は&tplOuterや&tplInnerの中で使用する。	
parent	&tplParentか&tplParentOffの内容。通常は&tplOuterや&tplInnerの中で使用する。	
first	&tplFirstか&tplFirstOffの内容。通常は&tplInnerの中で使用する。	
prev	&tplPrevか&tplPrevOffの内容。通常は&tplInnerの中で使用する。	
next	&tplNextか&tplNextOffの内容。通常は&tplInnerの中で使用する。	
last	&tplLastか&tplLastOffの内容。通常は&tplInnerの中で使用する。	
home.id	ホームページのID。	
home.uri	ホームページのURI。	
home.title	ホームページのタイトル。	
home.alias	ホームページのエイリアス。	
parent.id	親ドキュメントのID。	
parent.uri	親ドキュメントのURI。	
parent.title	親ドキュメントのタイトル。	
parent.alias	親ドキュメントのエイリアス。	
first.id	最初のドキュメントのID。前のドキュメントと同じ場合は出力しない。	
first.uri	最初のドキュメントのURI。前のドキュメントと同じ場合は出力しない。	
first.title	最初のドキュメントのタイトル。前のドキュメントと同じ場合は出力しない。	
first.alias	最初のドキュメントのエイリアス。前のドキュメントと同じ場合は出力しない。	
prev.id	前のドキュメントのID。	
prev.uri	前のドキュメントのURI。	
prev.title	前のドキュメントのタイトル。	
prev.alias	前のドキュメントのエイリアス。	
next.id	次のドキュメントのID。	
next.uri	次のドキュメントのURI。	
next.title	次のドキュメントのタイトル。	
next.alias	次のドキュメントのエイリアス。	
last.id	最後のドキュメントのID。次のドキュメントと同じ場合は出力しない。	
last.uri	最後のドキュメントのURI。次のドキュメントと同じ場合は出力しない。	
last.title	最後のドキュメントのタイトル。次のドキュメントと同じ場合は出力しない。	
last.alias	最後のドキュメントのエイリアス。次のドキュメントと同じ場合は出力しない。	
start.id	最初のドキュメントのID。前のドキュメントと同じ場合でも出力する。	
start.uri	最初のドキュメントのURI。前のドキュメントと同じ場合でも出力する。	
start.title	最初のドキュメントのタイトル。前のドキュメントと同じ場合でも出力する。	
start.alias	最初のドキュメントのエイリアス。前のドキュメントと同じ場合でも出力する。	
end.id	最後のドキュメントのID。次のドキュメント同じ場合でも出力する。	
end.uri	最後のドキュメントのURI。次のドキュメント同じ場合でも出力する。	
end.title	最後のドキュメントのタイトル。次のドキュメント同じ場合でも出力する。	
end.alias	最後のドキュメントのエイリアス。次のドキュメント同じ場合でも出力する。	
page.current	現在のページ番号。	
page.total	全てのドキュメント数。	